

重さの目安: アルミ製 60×90cm=700g 木製:62×83cm=約1.5kg

パネル番号	大きさ(cm)	規格	内容(写真集のキャプション) ※注:キャプションの著作権は当資料館にはありません。	備考(撮影日)	米軍写真番号
E-001	60×85	アルミ製	米軍上陸翌日の2日に米海兵隊に保護された老人4人。住み慣れた村で死ぬのが本望と、多くの老人が避難しなかった。	4月2日 (常設展示)	297
E-001-2	43×60	アルミ製	〃	〃	〃
E-002-1	43×60	アルミ製	米軍前線に白旗を持ち近づいてきた少女。	6月25日	303
E-002-2	53×42	木製	〃	〃	〃
E-002-3	43×60	アルミ製	〃	〃	〃
E-002-4	73×52	アルミ製	〃	〃	〃
E-003	55×44	アルミ製	頭をかかえて座り込む老人。その側から日本兵を急追するマリーンたち。		628
E-004	42×53	木製	墓の中から幼い姉弟が見つかった。前線からわずか50mの場所にあった。	4月23日 (常設展示)	
E-004-2	43×60	アルミ製	〃	〃	〃
E-005-1	44×55	アルミ製	泥まみれの少年。		629
E-005-2	60×90	木製	〃	〃	〃
E-005-3	43×60	アルミ製	〃	〃	〃
E-005-4	73×52	アルミ製	〃	〃	〃
E-006	62×83	木製	南部戦線で負傷しすわりこんでいる子ども。	6月21日	302
E-007	62×83	木製	玉城村屋嘉部部部落に集められた住民。傷ついた肉親を気づかっている。	6月12日	295

パネル番号	大きさ(cm)	規格	内容(写真集のキャプション) ※注:キャプションの著作権は当資料館にはありません。	備考(撮影日)	米軍写真番号	
E-008	44×55	アルミ製	担架の上で身を起こしかすかに微笑む老人。米兵から携帯戦時食糧“レーション”をもらっている様子。			206
E-008-2	62×83	木製	〃	〃	〃	
E-008-3	42×53	木製	〃	〃	〃	
E-008-4	43×60	アルミ製	〃	〃	〃	
E-009	45×55	アルミ製	親兄弟に看取られることもなく1人寂しく死んでいった少女。		5月20日	556
E-010	43×60	アルミ製	米兵に傷を手当てしてもらった少年。南部戦線末期。		6月21日	200
E-011	44×55	アルミ製	戦闘に巻き込まれた住民を担架で運ぶ米兵。		6月13日	197
E-011-2	43×60	アルミ製	〃	〃	〃	
E-012	55×45	アルミ製	南部の具志頭。放心状態で傷の手当てを待つ少女。		6月21日	301
E-013	53×74	アルミ製	米軍によって洞窟から追い立てられ、必死で出てくる日本兵。			220
E-013-2	53×42	アルミ製	〃	〃	〃	
E-014-1	53×74	アルミ製	お互いに傷の手当てをしあう少年と少女。			232
E-014-2	60×90	木製	〃	〃	〃	
E-015-1	83×62	木製	幼女に水を飲ませる米兵。			353
E-015-2	90×60	木製	〃	〃	〃	

パネル番号	大きさ(cm)	規格	内容(写真集のキャプション) ※注:キャプションの著作権は当資料館にはありません。	備考(撮影日)	米軍写真番号
E-016	45×55	アルミ製	負傷した少女の手当をする米軍将校。	 6月21日 (常設展示)	212
E-017	44×55	アルミ製	上陸初日、米軍の放火で負傷した女性が救助された。その足下には必死で守り抜いた幼子が見える。	 6月	622
E-018	44×55	アルミ製	那覇で、腹がふくれて栄養失調気味の幼児が、バーキと呼ばれるカゴで発見された。	 6月	627
E-018-2	44×55	アルミ製	〃	〃	〃
E-019	55×45	アルミ製	終戦後の徳之島。負傷した兵士らがベッドに横たわっている。	 9月24日 (常設展示)	351
E-019-2	43×60	アルミ製	〃	〃	〃
E-020	45×55	アルミ製	激しい戦闘のさなかに負傷した少年の治療をする米軍医。	 6月21日	216
E-020-2	43×60	アルミ製	〃	〃	〃
E-021	60×85	アルミ製	沖縄で捕虜になった日本兵の最年長と最年少者の3人。左から75歳、16歳と15歳。	 6月20日 (常設展示)	233
E-021-2	43×60	アルミ製	〃	〃	〃
E-022	44×55	アルミ製	この洞穴には11名が避難していた。手に抱く赤ちゃんの泣き声で救出された。4月の戦争初期であったため。日本兵が同居していなかったことが幸いした。	 (常設展示)	613
E-022-2	62×83	木製	〃	〃	〃
E-023	42×53	木製	城間で鉢合わせした子ども達に携帯食を与える米軍MP	 4月24日	

パネル番号	大きさ(cm)	規格	内容(写真集のキャプション) ※注:キャプションの著作権は当資料館にはありません。	備考(撮影日)	米軍写真番号
E-024	62×83	木製	南部戦線を逃れ、玉城村屋嘉部に収容された住民。	6月12日	300
E-024-2	43×60	アルミ製	〃	〃	〃
E-025	44×55	アルミ製	3時間で伊平屋を占領した米軍によって前泊に集められた住民たち。	6月3日 (常設展示)	614
E-025-2	43×60	アルミ製	〃	〃	〃
E-025-3	52×73	アルミ製	〃	〃	〃
E-026-1	55×44	アルミ製	屋嘉収容所。非戦闘員、朝鮮人、日本兵と区分けされていた。	6月27日	282
E-026-2	42×53	木製	〃	〃	〃
E-026-3	43×60	アルミ製	〃	〃	〃
E-027-1	55×44	アルミ製	捕虜になった少年兵。左が18歳、右が20歳と米軍の説明にはあるが、実際には13～18歳の中学生が多かった。	6月17日	234
E-027-3	43×60	アルミ製	〃	〃	〃
E-028-1	55×44	アルミ製	南部戦線で脚を負傷した少年が、老人の助けをかりながら収容所までたどり着いた。	6月19日 (常設展示)	296
E-028-2	55×44	アルミ製	〃	〃	〃
E-029	43×60	アルミ製	押し寄せる米軍から逃げ遅れ、難民収容所へ移動させられる読谷村楚辺の住民。	4月8日 恩納村	299
E-030	60×90	木製	米兵が銃を構える中、煙幕の中出てくる男性。	6月21日	231
E-030-2	43×60	アルミ製	〃	〃	〃
E-031	43×60	アルミ製	捕虜になった少年に尋問する米兵。米兵によれば少年は「17歳」と答えたという。	6月25日	243

パネル番号	大きさ(cm)	規 格	内容(写真集のキャプション) ※注:キャプションの著作権は当資料館にはありません。	備考(撮影日)	米軍写真 番号	
E-032	53×42	木製	米軍の降伏呼びかけに応え、泳いできた日本兵。			
E-033	43×60	アルミ製	砲弾の嵐の中をようやく生き残り、終結地に向かって海岸沿いの珊瑚礁の上を歩く大里村出身の比嘉キクさん(当時17歳)と比嘉善吉さん(当時25歳)。			246
E-034	43×60	アルミ製	首里城下に設営された第32軍司令部壕内壁にある棚寝台。		7月6日	74
E-035-1	62×83	木製	住民や日本軍がたてこもっていた自然壕に侵入しようとする米兵。		5月4日 (常設展示)	224
E-035-2	90×60	木製	〃	〃	〃	〃
E-035-3	44×55	アルミ製	〃	〃	〃	〃
E-036	43×60	アルミ製	急造の収容所に入れられた米第6海兵師団から送られてきた300人以上の捕虜たち。		6月	287
E-037	43×53	木製	日本軍の狙撃兵がいた壕から救い出された幼女。この衛生兵は、かすり傷を負っただけのこの子の幸運を祝福した。			636
E-038	43×53	木製	米の配給に長蛇の列をつくる収容所の人々。		6月28日	681
E-038-2	53×74	アルミ製	〃	〃	〃	〃
E-039	43×53	木製	海兵隊の野戦病院で生まれたばかりの赤ん坊。体重は3,100グラムもあった。この米兵はゴッドサン(神の子)と命名した。			653

パネル番号	大きさ(cm)	規格	内容(写真集のキャプション) ※注:キャプションの著作権は当資料館にはありません。	備考(撮影日)	米軍写真番号	
E-040	43×53	木製	米軍の配るキャンディーに群がる子どもたち。			714
E-041	43×60	アルミ製	戦闘に巻き込まれて、この少年は指を失ってしまった。		6月21日	215
E-042	53×43	木製	手に降伏パンフを握りしめながら、米軍の戦列に歩み寄る日本兵。		6月25日	248
E-042-2	43×60	アルミ製	〃	〃	〃	
E-042-3	43×60	アルミ製	〃	〃	〃	
E-043	43×53	木製	死者を埋葬する住民。戦火がやんだ後は、飢えと医療不足で亡くなる人が多かった。		6月16日	558
E-044	43×60	アルミ製	少女の足の傷にはウジが湧いていた。具志頭村の米軍政府診療所。		6月21日	214
E-045	43×60	アルミ製	収容所への移送船内の様子。トイレ以外は甲板に出ることは許されなかった。		7月1日	651
E-045-2	52×75	アルミ製	〃	〃	〃	
E-046	43×60	アルミ製	白旗を掲げ降伏を示し、洞窟から出てきた日本兵。		6月25日	236
E-047	43×53	木製	がれきの中の仮収容所の人々。			620
E-047-2	53×74	アルミ製	〃	〃	〃	

パネル番号	大きさ(cm)	規格	内容(写真集のキャプション) ※注:キャプションの著作権は当資料館にはありません。		備考(撮影日)	米軍写真番号
E-048	42×53	木製	米軍上陸後、洞窟から出てきた座間味部落の人たち。		3月27日	9
E-048-2	43×60	木製	〃		〃	〃
E-048-3	50×75	アルミ製	〃		〃	〃
E-049	43×60	アルミ製	前線から後方へ逃げる老人と子供たち。		4月2日	298
E-050	60×42	アルミ製	首里近くの壕の中から救出された姉妹3人を安全地帯へと連れる米軍少尉。		6月10日	211
E-051	53×43	木製	収容所に移動する住民。			647
E-052	42×53	木製	不発弾に近づいた子供に、あわてて注意するMP。		4月2日	624
E-053	43×60	アルミ製	那覇、小禄付近の戦闘で捕えられ捕虜となった日本兵。		6月	603
E-054	43×60	アルミ製	石川仮収容所で、衣服を乾かす住民たちの様子。この後石川は一挙に数万の人口を抱える場所になった。		7月4日 (常設展示)	307
E-054-2	52×75	アルミ製	〃		〃	〃
E-055	42×60	アルミ製	壕から救出された幼い姉妹にスープをやる米兵。			208

パネル番号	大きさ(cm)	規格	内容(写真集のキャプション) ※注:キャプションの著作権は当資料館にはありません。		備考(撮影日)	米軍写真番号
E-056	42×60	アルミ製	小隊単位でスープの配給をうける日本軍捕虜。嘉手納近くの捕虜収容所。		6月20日	309
E-057	43×53	木製	収容所に移動する住民。		7月1日	650
E-058	43×60	アルミ製	簡易ベッドとテントで作られた嘉良間病院。戦後、最初にして最大の病院となった コザ病院のはしりとなった。		5月15日	654
E-059	43×60	アルミ製	中部にある食糧配給所前で賑わう人々。			678
E-060	60×42	アルミ製	終戦後、農作物や食糧などはすべて公有化され、配給された。			712
E-061	53×42	木製	生後2ヶ月の赤ちゃんをおんぶしている7歳の少女。 不似合の下駄をはいたおんぶ姿に米兵は珍しがった。 宜野湾市野嵩。		5月10日 宜野湾市野嵩	311
E-061-2	53×74	アルミ製	〃		〃	〃
E-062	60×42	アルミ製	収容所内に建てられた掘立小屋。		5月4日	694
E-063	60×42	アルミ製	米軍の野戦食糧を住民に配給している様子。			335
E-064	53×43	木製	米海兵隊本部では住民の身分登録が行われた。金武小学校。		5月	330

パネル番号	大きさ(cm)	規 格	内容(写真集のキャプション) ※注:キャプションの著作権は当資料館にはありません。	備考(撮影日)	米軍写真 番号
E-065	43×53	木製	南部から移動してきた人々の間でも芋掘り作業が主体となっていた。	7月16日	677
E-066	43×60	アルミ製	現在の沖縄市室川にあった、戦争孤児収容施設で遊ぶ子どもたち。	8月4日	730
E-067	42×53	木製	上陸数日後、米軍は早くも中部の島袋に食糧配給所を設置した。	4月6日	308
E-068	43×60	アルミ製	嘉手納の米軍基地内にある仮収容所。人々は仮収容所を米軍の発音にならって“カンパン”と呼んでいた。	5月4日 (常設展示)	619
E-069	42×60	木製	宜野湾市我如古のチンガーガマに通じる縦穴(井戸)より救出された少年。	5月4日 (常設展示)	
E-069-2	43×60	アルミ製	〃	〃	〃

—